

中学校第 1 学年家庭科指導案

1、題材名

地域の魅力発見～PR 動画を作ろう！～

2、学校種・学年・領域

中学校・第 1 学年・「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」

3、題材の目標

(1) 家庭科としての目標

- 地域に根差した生活文化や、地域の人々の快適で安全な生活を守る工夫を理解する。(B 衣食住の生活)
- 地域の一員として、地域の人々との関わりや、協働していく方法がわかる。(A 家族・家庭生活)

(2) 汎用的スキル

- 話し合いや調べ学習、まちあるきを通して、地域の新たな魅力を発見することができる。また、それらを他者に分かりやすく伝えるための PR 動画を、班で協力しながら作ることができる。(協働する力／伝える力／感性・表現・創造の力)

(3) 態度・価値

- 多様な人々の立場から、地域をみつめることができる。(他者に対する受容・共感・敬意)
- 地域の一員として自分たちにできることを提案することができる。(より良い社会への意識)

4、生徒の実態

住宅地内にある本校の周辺には、自然が豊かな大きな公園があり、地域の方々が憩い、集い、交流する様子を目にする機会も多い。本校では、土曜日に地域のスポーツ団体に施設を貸し出したり、周辺地域の自治会等と定期的に情報交換を行ったり、年に一度、地域で生徒がボランティア清掃活動も行っている。しかし、生徒たちが主体的に地域と関わる場面は少なく、地域の行事などに参加する機会も多いとは言えない。また、本校は、隣接する小学校とともに東京都の広域避難所に指定されており、学校周辺には案内掲示板や防災に関する設備も多くあるが、それらに気付いていない生徒もいる。

5、題材について

①教科から見た特性

現在、家族・家庭生活の多様化や地域のつながりの希薄化が進む中で、主体的に社会に参画することが課題となっている。また、グローバル化や少子高齢社会の進展などの社会の急激な変化に主体的に対応することが求められている。平成 29 年改訂の学習指導要領でも、「A 家族・家庭生活」では、幼児との触れ合い体験を一層重視し、高齢者など地域の人々と共同することに関する内容を新設し、「B 衣食住の生活」の住生活では、自然災害への備えについて重視している。この題材では、地域の様々な人々の立場から快適で安全な住環境の条件を考え、暮らしやすいまちづくりの工夫を見つけて PR 動画を製作する。これらを通して、普段自分たちが生活している地域の新たな魅力を発見するとともに、地域の一員として自分たちにできることを考え、地域社会への参画に繋げる。

②汎用的スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

区役所の職員として、地域振興のための PR 動画を制作するという設定により、地域への関心や好奇心・探求心を高めるとともに、班での話し合い、まちあるき、動画制作など、協働する力を育む場面を多く設定した。発見した地域の魅力をどの様にまとめアピールしたらよいかを話し合いながら、PR 動画を制作することは、伝える力や感性・表現・創造の力の育成にも繋がると考える。また、地域には様々な世代や立場の人が暮らしている。地域に暮らす多様な人々の立場から快適な住環境について考えることは、地域に暮らす多様な人々に対する受容・共感・敬意を育み、地域の一員として自分たちにできることを考えることで、より良い社会への意識が育成され则认为る。

6、題材計画と資質・能力を育成する主な手立て（全 4 時間 本時 3/4 時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第 1 次 (1 時間)	・以下の設定を示す。 「あなたは、区役所の地域振興課の職員です。地域の魅力を発信する PR 動画を制作しましょう。」 ・地域で生活する様々な世代、立場から、「地域の魅力や問題点」を話し合う。 ・地域の魅力を発信するための PR 動画の計画を考える。	○好奇心・探求心 ○協働する力 ○他者に対する受容・共感・敬意	○身近な場所を取り上げ、興味を引き出すための場面設定。 ○多様な視点から考える必要のあるテーマ設定。(地域の多様な人々を班の各員に設定し、それぞれの立場から、地域の魅力や問題点を考える。挙げられた意見を KJ 法でまとめ、快適な住環境のキーワードを整理する。) ○他者との学び合いの場の設定。

第2次 (2時間)	- デジタルカメラやタブレットを各班に渡し、まちあるきをする。PR動画に必要な写真などを撮影する。図書館やインターネットで調べた情報も活用する。 - タブレット(プレゼンテーションソフト)を用いて、PR動画を制作する。 - 各班が制作したPR動画をクラス全体で共有する。	○協働する力 ○伝える力 ○感性・表現・創造の力 ○他者に対する受容・共感・敬意	○協働が生まれやすい活動の設定。 ○多様な視点から考える必要のあるテーマ設定。 ○より良いものを作りたいという場の設定。 ○他者との学び合いの設定。
第3次 (1時間)	他の自治体のPR動画や、地域での活動を紹介した新聞記事等を紹介する。自分たちも地域の一員であることを自覚し、自分たちにできることを考える。	○他者に対する受容・共感・敬意 ○より良い社会への意識	○多様な視点から考える必要のあるテーマ設定。 ○より良くしたいという場の設定。 ○他者との学び合いの設定。

7、本時の学習指導

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入 5分	○地域に暮らす様々な世代、立場の人の視点で考えた地域の魅力や問題点をもう一度確認し、PR動画の製作に繋げる。	◇第1次で、地域に暮らす様々な世代、立場の視点から、地域の魅力や問題点をまとめた模造紙を掲示する。(多様な視点から考える必要のあるテーマ設定:他者に対する受容・共感・敬意)
展開 40分	地域の魅力をみつけて、PR動画を作ろう！ ○班で地域の魅力を伝えるためのPR動画を制作する。タブレットを用い、前時に撮影した画像をプレゼンテーションソフトに取り込み、音声なども録音し2分間の動画を編集する。(20分) ・バリアフリー情報を発信しよう！ ・防災に関する情報を発信しよう！ ・自然豊かな公園を紹介しよう！ ・強調したいポイントはテロップを入れよう。 ・魅力が伝わるように音声を入れよう。 ○各班が制作したPR動画を、クラス全体で共有する。(20分) ・バリアフリーの情報は、近くに暮らすおばあさんに伝えたい(見て欲しい)！ ・防災の情報は、自分の家族に伝えたい(見て欲しい)！ ・自然豊かな公園は、小学生のいここに伝えたい(見て欲しい)！	◇各班にタブレットを配布し、班で協力して作業を進める。(協働が生まれやすい活動の設定:協働する力) ◇ICT機器を用いて自分の考えを、わかりやすく伝える工夫ができるように促す。(より良いものを作りたいという場の設定:伝える力、感性・表現・創造の力) ◇他の班の動画を視聴し、様々な情報や見方に触れ、地域の魅力に気付く。プリントにそれぞれの動画の感想と、そのPR動画が紹介している内容を誰に見て欲しいか、なぜその人に見て欲しいのか(理由)を考え、記入する。その後、記入した内容について、班の中でお互いに発表し合う。地域には様々な世代の人々が生活しており、立場によって見方や感じ方が異なることに気付く。(多様な視点から考える必要のあるテーマ設定・他者との学び合いの設定:他者に対する受容・共感・敬意)
まとめ 5分	○PR動画の製作、視聴を通して気付いたことをまとめよう。 ・バリアフリー情報は、高齢者だけでなく、ベビーカーを使用している人や、けがをしている人にも伝えたい。 ・防災の情報は、地域で生活する様々な人が知っておくべきだ。 ・自然豊かな公園は、子どもだけではなく、高齢者の憩いの場所にもなりそうだ。	◆地域に生活する多様な人々の視点から、暮らしやすいまちづくりの工夫に気付くことができたか。